

(別紙4(2))

事業所名: グループホームあざみの里

目標達成計画

作成日: 平成 28 年 1 月 19 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	人員配置基準は満たしているが、人員不足傾向が続いており、人材確保策についてはより充実する余地がある。	毎日、安全で利用者様に寄り添った介護、支援が出来る。	ハローワークの他、学校関係や他の媒体などを検討し、人材確保や職場環境を充実させていく。	3 ヶ月
2	30	薬の保管については、職員室で保管しているが、棚に扉もなく、入居者の手にとれる場所にある。	薬の誤飲がなく、安全に暮らしていく。	・薬は職員室で、管理・保管し、扉の付いた棚を購入し、入居者の方が、手に取れないようにする。 ・投薬時は、日時、本人確認を、必ず声に出して行う。	1 ヶ月
3	35	消防署立ち合いで、夜間帯の避難訓練は実施しているが、昼間の想定訓練は実施していない。又、備蓄の一覧表に、消費期限が明記されていない。	・避難訓練の昼間想定訓練を行い、職員間の連携を確認する。 ・備蓄の一覧表に、消費期限を設け、管理する。	・昼間想定訓練も行い、職員間の役割分担や連携と自動連絡装置での、職員の到着時間の確認を行う。 ・防火自主点検項目表に、備蓄品の消費期限の確認欄を設け、毎月チェックする。	6 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。